

# 2

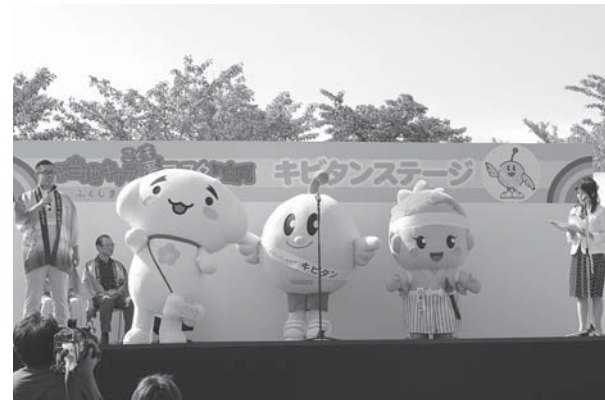
## 健康・福祉・医療プロジェクト

- ☆所得税非課税世帯に係る幼稚園・保育園の保育料を無料化
- ☆18歳までの医療費無料化を継続
- ☆「おたふくかぜ」と「みずぼうそう」の予防接種を定期化
- ☆地域の子育てに総合的に取り組むための「子ども・子育て支援事業計画」を策定
- ☆平成27年度から放課後児童クラブの受入年齢拡大に備え、施設改修を実施
- ☆「地域医療対策協議会」において、医師確保に向けたネットワークづくりを推進
- ☆ホールボディカウンターによる検査や、子どもや妊婦を対象にした個人線量計の配布を継続
- ☆2次救急医療機関の医師確保支援を継続



▲子育て支援を拡充

- ☆高齢者の肺炎予防のため、「肺炎球菌」を定期接種化
- ☆平成27年度から3年間の「第6期介護保険事業計画」を策定
- ☆障がいの状態に応じた専門的・総合的な助言・指導などを行う「基幹相談支援センター」を設置



▲今年も開催されるこども夢フェスタ

- ☆地理的優位性や歴史・文化など本市の魅力を発信し、企業誘致を推進
- ☆商工会議所、各商工会が発行する「地域振興共通商品券」への助成
- ☆商店の魅力を発信する「まちなか逸品」や「まちなかゼミナール」を支援
- ☆産業サポート白河の企業訪問や各種相談などを支援することによる地元企業の振興
- ☆3次元CAD等各種講習会やビジネスプランコンテストを開催
- ☆太陽光発電システム設置費用補助を継続

## 産業・雇用プロジェクト

- ☆小型風力発電機設置箇所選定の調査を実施
- ☆集落全体での農業経営の転換に向けた組織化や大規模農家の育成を図り、農業経営の基盤づくりを推進
- ☆農地中間管理機構と連携した農地の集積促進
- ☆農機具などの機械設備の更新支援と老朽化農業用施設整備
- ☆就農意欲の喚起や就農定着を図るため、独立・自営の青年就農者を支援
- ☆緊急に資金を必要とする農家へ低利な貸付を新設するため、金融機関に原資資金を預託
- ☆「ふくしまデスティネーションキャンペーン」のイベントを開催
- ☆ご当地ゆるキャライベント「こども夢フェスタ」を県と共同開催
- ☆中心市街地活性化のため、区域内民間住宅入居の子育て世帯への家賃補助と空き店舗改修費用助成を新設
- ☆「マイタウン白河」の大規模改修に着手
- ☆「きつねうち温泉」の浴室改修と露天風呂の設置

## ★特集 平成26年度施政方針

# さらなる「飛躍」に向けて

震災から3年。公共施設はほぼ復旧し、除染など放射線対策にも計画的に取り組んでいます。今年、復興を進めつつ、さらなる飛躍に向けて基礎づくりを進める重要な年です。  
今月号では、施政方針の中から主な取り組みを紹介합니다。



震災から3年が過ぎ、市民、各団体、企業、行政が各自の役割を果たし、相互に連携してきた結果、ほぼ震災前の状態に戻すことができました。改めて、ご支援をいただいたすべての方々に感謝申し上げます。  
引き続き、除染に強く取り組むとともに、子育て支援や未来を担うひとづくり、産業の振興、社会基盤の充実といった、本市のさらなる「飛躍」に向けた基礎づくりを進めてまいります。  
古より東北の要衝として歴史の転換点の舞台となってきた本市の、先人が築き上げてきた誇りある歴史を、さらに次の世代に引き継ぐとともに、本市の未来を輝かしいものとするため、全力を注いでまいります。

白河市長 鈴木和夫

# 1

## 安全・安心プロジェクト

- ☆大信地域、小田川・旗宿・白坂地区に続き、みさか・緑ヶ丘地区などの個人住宅除染に着手
- ☆小中学校等の放射線量モニタリング調査およびホットスポット除染を継続
- ☆集会所、スポーツ施設の除染を実施
- ☆災害時の飲料水確保のため、給水用トラックやコンテナタイプの給水容器を整備
- ☆消防屯所の改築や消防車両を更新



▲個人住宅の除染を継続



# 6

## 環境・コミュニティプロジェクト

- ☆小中学生の環境に対する理解を深めるため、南湖森林公園を活用した森林環境学習を引き続き実施
- ☆南湖公園内の赤松を後世に残すため、空中散布や薬剤の樹幹注入など松くい虫の防除を実施
- ☆ビャッコイ自生地保護のため、保全計画に基づき土砂流出防止などの対策を実施
- ☆地域コミュニティ強化のため、集会所の整備や「地域の底力再生事業」を推進
- ☆町内会が行う農業用施設の修繕等を支援する「結」支援事業を充実
- ☆大信地域において、地元産品を扱う直売所や住民の憩いの場を備えた「市民交流センター」の整備に着手



▲赤松（南湖公園内）の保全を実施

◆問い合わせ先 本庁舎企画政策課 ☎@1111 内2323

## 組織機構改革

市民の視点に立ち、簡素で効率的・機能的な組織を構築するため、組織機構を見直しました。ここでは、機構改革の要点をお知らせします。

### 新設 □滞納対策室

滞納整理に関する部署の設置を予定している広域市町村圏整備組合との連絡調整を図るほか、納税できる資金が十分ある高額滞納者の事案などについて、専門的に対応するため、滞納対策室を設置します。

### 新設 □農林整備課

安定した農業経営を推進することに加え、用水路等農業基盤の整備に積極的に取り組むとともに、間伐や林道整備などを推進するため、農政課から農林業の基盤整備部門を分離し、新たに農林整備課を設置します。

### 新設 □営繕係（建築住宅課内）

今後、実施していく公共施設の耐震化および長寿命化の業務について、市営住宅などの市長部局が所管する建造物のほか、現在、教育委員会で担当している学校、社会体育施設などの教育施設も含めて一元的に実施するため、建築住宅課内に営繕係を設置します。

### 統合・新設 □地域振興課

納税、会計、戸籍、福祉などの住民サービスに直結した窓口業務を一元化するとともに、選挙事務、確定申告事務など比較的多くの職員を要する事務について、柔軟に対応するため、各庁舎の総務課と市民福祉課を統合し、地域振興課を設置します。

◆問い合わせ先 本庁舎総務課 ☎@1111 内2314

# 4

## 教育・生涯学習プロジェクト

- ☆すべての小中学校、児童クラブ、幼稚園・保育園の普通教室等にエアコンを設置
- ☆白河中央中の建設工事、釜子小の実施設計に着手、大信幼稚園の大規模改修を実施
- ☆学校図書館の有効利用を図るため、学校司書を配置
- ☆「白河の歴史再発見事業」により郷土に対する愛着や誇りを醸成
- ☆子どもの心を客観的に理解する心理テストを導入し、いじめや不登校を防止
- ☆市民の多様なニーズに応えるため、市立図書館の蔵書の質と量を充実
- ☆表郷公民館の建設工事に着手
- ☆カタル国<sup>カタール</sup>の支援により整備が進む「健康スポーツセンター」を活用し、市民の健康を増進
- ☆小峰城の清水門跡や竹之丸の石垣積み替えや、三重櫓・前御門の修復工事に着手



▲今年度も行われる白河の歴史再発見事業

- ☆院展で内閣総理大臣賞を受賞された今井珠泉氏（本市出身）の特別企画展を開催
- ☆市民文化会館（仮称）を通して文化レベルの向上と人づくりにつなげるため、施設の管理など開館へ向けた諸準備への取り組み



▲引き続き整備を進める一番町大工町線

- ☆「旧脇陣柳屋旅館」や「小南湖」の整備に取り組み、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進
- ☆市民自らが良好な景観をつくるための活動を支援
- ☆国道294号葉ノ木平・田町横町地区の用地買収、移転補償と豊地・白坂泉岡・大信町屋地区等の整備促進要望
- ☆西郷彌目線登町工区の整備促進
- ☆矢武川の河川改修や、高橋川、社川などの堆砂除去について県に要望

# 5

## 都市基盤プロジェクト

- ☆市道の整備（白坂駅十字線、金勝寺大谷地線、梁森中寺線、深仁井田板倉線、池下4号線等）
- ☆生活道路の改修や側溝のふた掛けなどを推進
- ☆一番町大工町線や市民文化会館（仮称）へのアプローチとなる歩行系街路を整備し、回遊ゾーンを拡充
- ☆耐震基準を満たさない木造住宅の耐震改修費用の一部を助成
- ☆公共下水道の整備（観音前・小丸山・飯沢・関辺川前地区）
- ☆久田野地区農業集落排水の施設改修
- ☆公共下水道等の区域外について、市が行う合併処理浄化槽の設置を推進
- ☆大信地域、五箇地区簡易水道の石綿管・老朽管布設替えの実施
- ☆未給水区域での、飲用井戸などの整備経費の一部を助成
- ☆循環バスが親しまれ、一層の利用促進につながるよう車体に市公認キャラクターなどをラッピング
- ☆葉ノ木平地区の復興のため、東日本大震災復興交付金を活用し、災害公営住宅、震災復興記念公園、公共下水道、市道薄葉向寺線を一体的に整備